

ユキノシタ科

マルバネコノメソウ

Chrysosplenium ramosum Maxim.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… ー

■ 県内分布

西播磨、但馬

■ 国内分布

北海道、本州(近畿以北)

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	○
				希少	○

詳細は非公開

■ 特記事項

ー

■ 保護上の留意点

溪谷沿いの樹林の保全が重要である



写真提供: 松岡成久

■ 種の概要

山地の林下または林縁の沢沿いの湿地に生える。花茎の基部から花後多数の走出枝を出す。走出枝は細く、分枝し、淡緑色で白色の毛を散生し、葉を対生する。根出葉はふつう花時には枯死し、有柄で、ほぼ円形、長さ1cmに達し、基部は円形または切形、縁には3-4個の浅い内曲する鈍鋸歯がある。花茎は高さ7-15cmになり、開出する白色毛を散生し、1-2対の葉を対生する。花期は5-7月。花序はまばらに花をつける。苞は緑色、茎葉とほぼ同形。